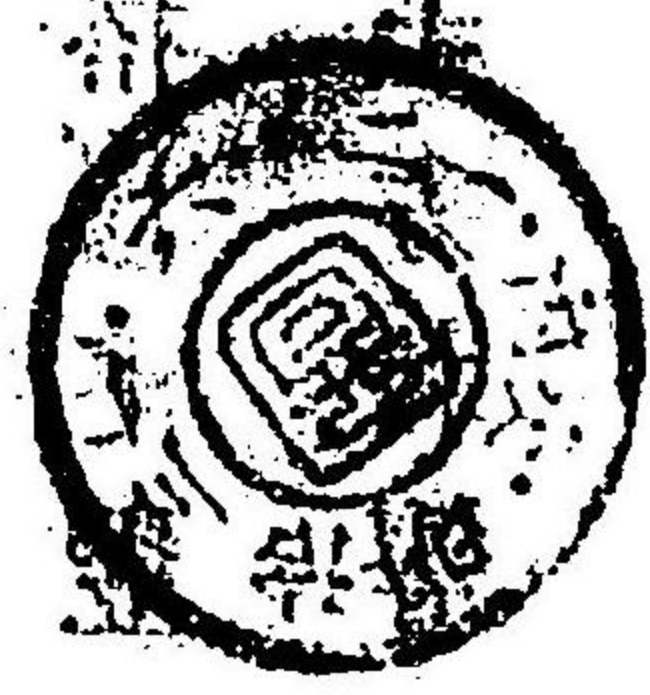


十日新聞 續編 田舎 夫より 田舎 田舎 田舎 田舎

田舎 田舎 田舎 田舎 田舎 田舎 田舎 田舎



熱ら國家經濟上の現況に鑑て前途の長計を慮るときは蓋し朝野

一致して生産を勵じて輸出貿易の旺盛を冀圖するより急務なる

は茶の備へて製茶は夙に輸出生産品として重要な地位に在るも

ゆえに茶の盛衰は單り營業者の利害に關するのみならず國家

經濟の消長に繫るや固より多言を俟たず前山其の趣を論ずるは

然る際内外茶業上の近況を観るに之れを外にしては我唯華の華

主國たる北米合衆國市場に勁敵現れて連り本邦製茶の販路を

侵奪せんとする在り之れを内にしては比年製産費増嵩の爲め製

造費も亦れば粗畧に流れんとす況んや昨年来國に於て粗製茶輸

入禁止條例を改定勵行せられたる結果我當業者の頗る警醒を要
 すべきものあるを余不敏なりと雖も本邦製茶の榮辱を以て喜
 憂する茲年あり命命益々斯業界の多事なるに會して衷心切々
 半夜夢平か来りざるを覺へばあらず此秋より方り全關第一
 産茶地方なる遠州金谷掛川の兩町を始め南山其他の總代諸君は
 懇に招て曰新茶前來りて市場の談話を試よと余安んぞ欣然之れ
 に應せざるを得ずや即ち四月十日輕装を整て横濱を發し順次前
 記の町村に備は到る處盛會を列して聊か所思を吐露する所あり
 猶引續き歴訪の豫約ありしと雖も時恰も臨時中央會議開會の
 時日に逼りしを以て一旦歸濱し再ひ十八日夜行客車に搭して翌
 十九日榛原郡川崎町に赴き夫より磐田郡見附町小笠郡土方村等

に於て何れも熱心なる諸君と會晤するの機會を得たるは余が本
 分として光榮とする處今談話の梗概を鉛槧に付せしめ經歷地方
 拜眉を得ざりし諸君に頒つに方り一言を叙して來會諸君の好意
 を謝し併て前後兩回各地に於て幹旋の勞を忝ふらる郡衙并に
 總代諸君に深謝すと云爾

明治三十一年五月

横濱 大谷嘉兵衛識

山崎正司氏田中氏等諸君の御厚意を以て感ずる所ありしを以て
 此の如き御厚意を以て感ずる所ありしを以て此の如き御厚意を以て
 感ずる所ありしを以て感ずる所ありしを以て感ずる所ありしを以て

舌を動かす上トブルに向て演説するは不慣なる私のこと故價値ある話をして諸君の清聴を待つに足りざるは頗る汗顔の至りなり。然るに今日の大難關は日本に在り。且日本は今日本話に入るに先で聊か述べんと欲する處は經濟界の現況。鑛産業者の國家的觀念と云ふことに説き及ばんとする。是なり諸君の知らるる如く國家今日の形勢を觀るに廿七八年の役を去るると茲に至る年其間本邦經濟上の變動は實に容易ならざるものありて一時諸事業暴進の結果遂に反動を呈し榮や朝野共に前途を危慮して專ら縮小の方針を執るに至り其極國家を富すの基ひたる生産力を萎縮せしめんとするの非運を招きたる所以のものは何ぞ所謂戦後の經營とし軍備擴張其他政府事業の膨脹したるは勿論民間に在ても一時は競て事業を計畫したる爲に忽ち經濟界の調子を失ひ或は固定資本の増加となり或は勞銀

の騰貴なり。大に物價の上進を助長せしめたるの事は。新事業勃興の結果は輸入超過の逆勢となり。以て今日の如き經濟上の困難を招きたる次第にして畢竟戦捷の餘響。人心大に昂り。國家生産の實力如何を顧るに遑あらざり。遂に漫然不生産的。趨業は。暴進したるものと云ふの外なし。然るは乃ち擴張論者の如く。軍備擴張を中止して經濟界目下の逆境を凌ん出するが是れ。安んじ。して行ふとも能はざるを奈何せん。見よ東洋近時の形勢は。列國競争の中心點となり。動くすれば。本測の國難をも醸さんと。考ふるの秋に方り。軍備の擴張は。一日も忽せに付す。がらざる。軍議者を喚ばずして。明がなれば。なり。勿論政府は戦後起業熱昂進の結果。經濟界を攪亂せんことを慮。事收戦の當時。普佛戦後に於ける。獨逸の實例を引て。豫め警戒を加ふる處あり。民間に在ても。一時は躊躇したるが如き。觀ありし。と雖も。

愈々債金は收容せられ通貨は膨脹するに至るを抑制せらるる
人気が忽ち暴落を勃發して起業の旺盛を誘致し廿八年後半期より
昨半並半期に至る三年間は露余未育の盛況を呈し果ては生産
界に不必要なる種々の遊覽鉄道杯も續々計畫せらるゝに至りし
がが輸入超過の勢は制止せんと欲するも能はざるの趨向を以て
試中政府事業は概して置き民間事業の重なる所の則ち鉄道を以
紡績より就て見るも警察所百万圓の總資本額を以て其の内
五圓以中は海外の輸入自仰の必要を以て内國より調達し得るもの
若きは支拂はるゝ高は四拾万圓超過する割合を以て其の内
米穀不作の積弊は漸年以て重なり外米の輸入も亦僅かに貿易の
逆勢を以て深激甚なるもの多し華資銀行の資本も亦漸次減少
融の於ては金利の暴騰は防げざる其極に達して遂に五厘の暴落を
る事業遂に阻礙の障礙を得ざる有様となり延び生産業の資本も

尙尔業業皆おる経商機働は悉く余餘無此現況を以て及
難き政府に歸する事あり其の民間事業も亦漸次減少するに及ば
ざるも周知の事業は概して停滞を來し其の不振の勢は漸次
不識茲に至りしものなればなり既往は答るる證なし要は只官民
一致して前途の長計を以てあり前途の前途を期するに欲せば
今日國難あり時不生産的の属する資本の供給の緊縮は系業皆
製茶料の需給の米麥通に組織を以て其の生産の進歩は漸次
るを更に相賞の獎勵を加ふ其生産の進歩は漸次
其業を諸君の知れぬや如く本邦は在るは此業の生産品は輸
出重要品に属す此國家を維持する處の基礎を以て故に農産品の
振はるるは彼の輸入超過の逆勢を拒絶する經濟界今日も困窮
の救済するも能はざるや勿論なり近來當局者も頗る茲に注意
する處あり財政止緊縮主義を執るも同時に産業の發達を期す

勵するの方針に出るもの如き此點に付ては余も嘗て同意
 を表するものなり。然るに政府の政策は、或る方面に於ては、
 舊て製茶は輸出品と見て、殊に重要な地位を占むるもの如き地
 方、の如き全國第一の産茶地方にありて、生産者の利益を顧みず、
 製茶貿易の浮沈に關するものなきに、延て國策經濟の消長に於
 ても、めど甚だしき影響を以て、貿易の逆勢に抗して、國策經濟
 を保持するに足るものには、坐索製茶を措き、又他業を措かば、
 君の國家は、負其處重直地を以て、或る方面に於ては、
 るもの宜也。國家の觀念を保持して、斯業の隆盛を計らざるは、
 蓋し政府が茶業者の希望を容れず、特の特に、賦税擴張、
 金を不付せられたる所以あり。又此國家の觀念は、外ならず、
 則ち茶業者は、一致團結國家を念及、の精神を以て、政府を求め、政府

種又茶業者を信じて、國庫の保護を與ふれば、
 和直は、雙邊國四藩國大以て、獎勵を獲り、
 受ける。然るに、茶業者は、直接に國家の利益を重んず、
 知らざるは、
 益に、
 家、
 余、
 念、
 的、
 り、
 他、
 之、

不忠なるもの云は、國運を危くす。不幸を招く。其の國運を
借て海外茶業界の近況に就ては、兼國諸君の知見、如く彼等印
度錫蘭茶業者は、本邦第一國の花を、國に任入して、其の類を
以、其本の運轉費を、我々國に、有力なる委員を、派遣し、新聞紙、雜誌、の
途、勿論、販賣、利用、の手段、由、施、費、重、盡、盡、實、の、善、業、事、の、自、國、の、植、茶、
揚、て、我、製、茶、者、傷、け、友、を、惟、恐、與、故、あ、ら、ゆ、る、野、心、の、類、事、國、運、の、損、
を、以、て、我、國、本、茶、の、販、路、を、掠、奪、せ、る、事、而、は、我、等、は、元、來、其、政、府、
の、保、護、獎勵、を、受、る、應、は、相、違、ぬ、は、馬、鹿、で、な、其、資、力、は、能、か、者、な、と、
致、團、結、販、路、他、張、煽、動、の、餘、は、優、に、數、據、萬、國、の、運、轉、費、を、讓、渡、し、
賊、功、を、永、久、に、期、せ、し、と、茶、業、者、の、益、如、國、運、の、損、運、動、の、激、烈、な、實、情、
送、便、露、的、取、業、者、取、り、着、手、進、歩、論、者、進、歩、論、者、の、重、重、之、責、任、を、負、我、は、備、
政府、の、獎勵、金、出、萬、圓、を、以、て、彼、類、は、對、我、を、以、て、通過、の、料、は、別、に、防、禦、
的、地、位、に、據、り、て、我、の、茶、國、運、を、不、可、知、な、地、位、に、墮、落、す、之、の、至、り、
我、等、は、其、の、
九

然るに、我々の茶は、米國に、我、目、茶、を、啓、導、し、た、る、號、進、國、を、導、き、以、て、今、日、
に、在、り、我、の、愛、護、の、の、觀、念、あ、り、て、新、聞、者、始、終、出、版、需、要、者、に、於、て、
の、日、本、茶、の、爲、は、好、意、者、少、く、な、り、の、勢、な、か、り、我、等、以、て、印、度、錫、蘭、
と、對、等、の、對、策、を、採、り、し、て、得、る、は、畢、竟、我、製、茶、の、優、待、を、得、る、の、勢、
之、に、對、し、思、慮、を、粗、製、茶、需、要、者、の、指、を、我、は、海、外、我、國、同、類、地、味、差、
を、再、以、て、起、す、能、は、ざる、の、運、命、に、陷、落、中、味、は、唯、た、大、逆、視、論、者、如、對、豈、
に、恐、れ、我、の、運、命、可、成、ん、や、と、思、ふ、は、其、大、半、は、我、等、大、
而、以、て、粗、製、茶、を、去、業、品、に、明、治、十、五、年、の、頃、最、も、甚、く、當時、米、國、
に、於、て、其、弊、を、知、り、粗、製、茶、輸、入、禁、止、の、法、令、を、發、布、せ、り、
此、は、我、等、茶、業、者、は、勿、論、政府、に、對、し、大、聲、疾、呼、を、起、し、全、國、統、一、の、
組、合、制、度、を、設、け、爾、來、專、攻、改、其、の、方、針、を、執、り、漸、次、需、要、者、の、不、能、用、
を、挽回、し、た、る、也、は、諸、君、の、知、悉、す、可、處、殊、に、米、國、國、運、先、改、其、の、觀、
念、を、改、め、今、自、己、に、於、て、是、は、全、國、茶、業、の、模、範、と、爲、り、又、我、等、茶、業、者、の、榮、華、
九

き有せざるは余の畢爾喜樂處なり然れども其終諸君に對し其
意を包はざる可し蓋は他悉く何悉く昨午滿國終於此新條案
此台歸たる粗製茶輸本禁止條例を勵行す本滿結集現任本邦茶
輸入を提議業はた爲ぬ或は我程は提議業も是を國兩にて
此提議を蒙りた後製茶は如何處置せん其亦多慮承拒絶對立
在りす此提議業も劣等品は何故に向て輸入起る事の當否未
多悉本邦に積戻りたるものあるべしと雖も其大半は加那太に
轉送せられたるにあらざる或は加那太に運送せる提議業
或は提議業を課税する法律を議す或は兼國同様粗製茶
本禁止條例を廢止せんとするの議案を提議する諸君は提議業
るの事茶如包是れ我提議業者の輕く看過すべきを要し本邦
兩縣に於ては前述べ如懸念合格の粗製茶は産出地諸國を以
て他縣に不履粗製茶の製茶を禁止すは提議業の良茶は雖も

日本茶本國で至概に汚名を蒙りて積戻りたるものを得ず輸出下
本は本縣に於ては改良の上は益を改善せしむるべきの商
ら其他縣を商誘導し而苟も日本茶は米國の標準を見本邦對
食格の改良の必要を期せざるは本邦茶の改良に到れず米國
亦不粗製茶輸出禁止條例の必要を感ずる所は本邦茶の改良
中央會議に於て法律を以て粗製茶輸出禁止條例を制定す
商政府の建議に本滿所以然の懸念を並置し此條例は本邦
本邦に於ては如何に實に内國業者の製品を保護せんは本
あるの事本邦の輸出に從事する内外商は在るも本國の輸
て始めて積戻りたるもの如き懸念もなき自然商業は安全に
且本邦本邦茶の信用を博するを得るに至るも如何なる茶
本邦茶を見積保より又場所を以て其標準を異にするあり
は同一の製茶を左右兩手に採りて見れば本邦茶の信用は固

りては各其光澤を三三三に示す若し如き至難の物品茶葉は輸出業者
 に在りては米國の標準見本に照し萬一過ちあるを期したる製茶
 且雖とも輸天地の検査員其人にまがては不幸にも合格せざる高
 と見做さるやか如き恐れを堪へざるは誠恐なり其安全の計あり
 故に假令海外需要絶まり中等品以下の注文を受る者會も難きも
 今日に於ては漫に其注文を應ずるを難しき相向せられたる前送湯
 如く中等品以下は概に被地の税關を通過せしむるの見送立死
 若しあが若し輸入を拒絶せしめたるは其荷物の係る荷爲
 替不渡り爲し華達を呈すは勿論運賃保険料免許料等費を積
 失は歸すの次第を待たざる且不合格品と見做さるは其地は少
 も原價の半額を失ひ剩其荷物の始米價窮乏を待たざるを得
 本邦輸港港に於て完畢せる検査を遂げ證明書付するときは前送
 の如き米國に至りては合格品と見做さるは其地は少も輸出入業

者も安心し取引するを得るに従て米國需要者の信用を措く
 如き至難の物品茶葉は輸米地の於て遂に日本茶の限り輸米地に於
 て検査するの必要を感せざるに至らんか尤も如此法律を以て粗
 製茶の輸出を嚴禁し完全の検査を施行せんとするは容易の業に
 あり殊に改正條約實施後にあらざれば施設する由なきを以
 て差當り中央會議所の事業として横濱神戸長崎の三港を検査所
 を設立し粗製茶を取締るに決し目下其方法等は既に調査委
 員に附託中なるが該委員は既に過日神戸に於て調査會を開き其
 結果八月より臨時中央會議を召集し以て今日の急務に應じん
 とするの運とばなれり然るに生産家中検査所の設立には賛成な
 りざるも新茶出盛りに際し検査の爲め時間を要し荷物遊滞となり
 了遂に商機を失ふ恐れなきかさて願る苦慮せらるゝ向ありと聞
 是れ御尤なる次第なれば余は一個人の資格として一言愚考を

述べんに御承知の如く横濱に於ては新茶季節に際すれば日米四五千捆も入荷するか故に到底如此大数の荷物を悉く個々に付て検定するは至難の事なれば余は信用検査の便法を執るより外なきものと思ふこと是なり借て余の所謂信用検査とは他にあらず平素信用ある荷物は一々検査を遂る迄もなぐ其荷印を見るのみにて自由に引込ましめ之れに反し一回にても不正實の所爲ありしもの若くは疑はしき荷物に對しては容赦なき嚴密の検査を加へんとするにあり而して如此手段を執るときは常に検査事務を簡易敏捷ならしむるのみならず大に信用の發達を促す基ともなりて自ら不正實の荷物を送る者は公然恥かじめらるる事如き感_を起し大に弊害を匡正せらるるに同時に荷物滯留の爲め賣込の時機を誤るが如き恐_をかゝるべしと信ず勿論此等の方法手段は中央會議に於て決せらるべき問題を此は余が爰に自説を喋らする

の要なきが如しと雖も乍序一言御参考に供するのみならず又昨年は茶業界甚多事なる年にして粗製茶輸入禁止條例實施の爲め我茶業者をして前述の如く警戒を加へしめたるのみならず意外にも新茶の季節に際し米國國會に於て製茶に輸入税を賦課せんとするの議論起り一時は大勢既に課税に決せんと思はしむるの如く市場之振が爲めに動搖を起し轉た斯業の前途を憂慮せしめたり借て該案によれば製茶一封度に付金拾仙の關税を課せんとするものにして本邦の通貨に換算すれば實に百斤貳拾六圓となるの割合なり是れ豈に驚くべき重税ならんや而して此課税案が愈々國會の議に付せられんとするや中央會議所は斯業上容易ならざる影響を被るものと認め紐育支部に向ては臨機の運動に着手せしめ一面には我政府に建議する所ありしが而かも猶衷心安んずること能はず其運命を決するの時日を追々切迫するを奈

は斷然議長の名義を以て全國茶業者百二十拾五万人を代表し合衆國大統領閣下に宛てて急電を發し以て我茶業者の希望を表白したり然るに幸にして當時該案は元老院財務委員の手に附托調査申渡りしを以て大統領は直に電信を財務委員に交付せしめられたる旨鄭重なる返翰を給ふたるは我茶業者の光榮とする處流石は文明國大統領と敬服の至りに堪へど又前田君は此時に防り歐米視察の途に上られ先づ米國に至るや議員其他諸訪問して茶業の爲めには特に盡力せらるる處あり且紐育支部長古谷氏も克々任務を盡して機敏の運動を試みるに内外相應して機會を失せ悉く運動を爲し来る結果大に米國の反省を促したるものゝ如き他の輸出品に課税せしむるに拘らず獨り製茶は従前通り無税とあるを得來り是れ聊か茶業者の面目を保つる處近來の昧事にして諸君と共に賀せざるを得ざる次第也然れども若し茶業者に

して我團結の精神を以て組合の組織あり且雖も其機備はさざりしに其目的は達成此好結果を奏する能はざりしものを知らざるを得ず由是觀ても一致共力の必要を証するに足るを以て國家的觀念の大切なる所以を知らしむるに足るを以て莫くは諸君將來は益々此責重なる一致の力換言せば國家的觀念を涵養し外に對しては販路の維持擴張を圖り因に在るは改良の上にも改良を加へ以て斯業の前途を多幸多福を其圖めんとすを餘議甚長きに涉れ難きを是より新茶に對する希望と云ふ事項に移り聊かお話しする處ありは

一新茶に對する希望

(一) 手採を充分ならしむること
 昨年來當地の製茶は概して改良を行届きたるは或見受とれ

とも未だ充分とは申し難し諸君御承知の如く茶を製造する
 上に就て最も大切な點は干燥にあることなれども兎角此
 一箇肝要のことを輕々に付するものあるが爲め茶業上恐るべき
 不幸の結果を招かんとするは誠に痛嘆の至りなり何となれ
 ば干燥の不良なる茶は折角勞力を費して持へ上げたるもの
 といふ雖も時日を経るに従て品質を墜すものなれば當初の勞苦
 といふも全く水海に歸するのみならず其酷しきに至りては黴を生
 じ腐敗するに至るものなれば製造の當時は良茶の如く見
 られたるものも輸出せらるゝ時に及んでば粗製品に變化するに
 至り遂に海外需要者の擯斥を蒙らざるを得ず然るに干燥を
 充分にするときは量目を減するの損あるのみか今日製造し
 て其日他人に賣渡す場合に於ては餘り干燥をよくするは不
 得策なりと云ふ者あり何ぞ知難ん如此其日限りの考を以て

干燥不健全なる製茶を供給したる結果は廻り廻りて自家の
 頭上は不利不幸の墜落し來るものなるを試は思へ干燥
 の悪しき茶を製造して仲買に賣渡す仲買は又直に茶を
 横濱に輸送したりとせば横濱に於て其荷物の干燥不充
 分なりと見る所此を積置くときは忽ち品質は變化を生ずる
 の恐あるを以て市況の如何を顧るに違あらずして急ぎ賣渡
 せざるを得ず而して如此轉々溢滞なく賣行きたる時は最良
 其荷物に對する責任は之を買入たる外商に移りて製産家は
 其責を免れたりと思ふ勿れ是れ大なる誤解なればなり何故
 なれば新茶の季節に在りては日々買入る製茶を直に再製
 すること能はされは外商は之を五日乃至十日間も倉庫に
 積込置くことありとせよ茲に於て例の干燥惡しき製茶は忽
 ち品質を傷み再製に着手せんとする時に方りては既に五六

圓亦も價值を落すに至る殊に再製を加へたる後に至りて益
 水色を悪からしむるもの甚し然れども一旦買込たる茶は如
 何と云ふ事からざるを既に正を得ず海外へ輸出したりとせ
 るは之れを荷受したる外國輸入商種其製茶の品質甚宜し
 其せるを以て大に驚きて日本年の日本新茶は香味水色と
 頗る劣悪なり斯る粗製品は需要者の嗜好に適すべからず
 として曩は平均的豫約は約五百担に減少する旨電報
 を以て通知し來るが若くは躰荷の積出を差止め來る採例
 は現に余の見聞する處より剩り其減額もたる補ひは之れを
 對茶業總業とすして印度錫蘭及び支那茶を注交するに至る
 と思はれ然る要商況は不振を蒙る販路は縮み其身に遠に製
 煙家全体の不幸に歸する所はあらざる是所謂多災多難と
 夫れ之類たるも其甚しき尙茶豈に深き其に應じざる可からずや

殊に昨年新政府の保護製茶の販路を擴張せしむる事
 業務遂有進歩我茶業者は之れを僥倖と見る可からざる
 甚るる利便の希求なきのみを控る及ばば感は恥ぢりて直に
 製煙家の責任を知らざるものにして即ち國家的觀念なき人
 也此れを知るは亦た勿論茲に酒糖糖會の諸君は御熱心の方の
 善いなきを以て余が斯く嘆息茶の販路を信ずる雖も
 甚願未だ採般営業家の野には諸君及び先分御注意を願
 ふこと切望す製煙の世に大害なきは人々は之れを切望す
 (二) 採煙製茶の大害は就ては諸君の御熱心御熱心の方の
 採煙が御先年御當麻へ傳たる際採到者處御話しなむこと
 刻むる元來製茶は他の惡臭は移動易き家の茶は採煙煙
 感染する製茶は製茶來の香氣を全く煙りに奪はるるは
 此の茶製を云はたよきは製茶煙りの湯を飲せしむる

が如き悪感を興ふると是な真左様は海外需要者は於てか
 此煙ある製茶を嫌悪するに味の外甚しく假令形状は優美
 にして干燥の申分なき雖も煙の臭氣ある茶は必す推
 斥せられざるを得ず云ふ迄はな製茶は飲料物にして味は香
 氣を以て賞味せらるるものなれば只外見の美を尙ふのみに
 汲むとて却て煙臭の如き大害を忘るゝ人あらんには是れ
 其本末を知らざる者の誤り云はざるを得ず況んや海外需要
 者に於ても今日に在ては既製茶の趣味を解し得ざるもの
 故形状は云の美なり雖も香氣醜陋なるもの製茶用を其の
 價を察し得ずして味の外に味なきもの製茶用を其の
 諸君は既御承知なればな製茶の煙臭の茶は假令其量と
 雖も之を他に混雑するるときは其混雑茶全体を棄て其臭氣
 傳染するに在るものにして且味日刻を以て其煙臭現はる

故のな製茶製造の當時は産地のことばかりは茶造雖
 も横濱に到達の頃は重なりて其悪臭は著しくなれば遂に海
 外に至る迄此臭氣を横行せしものと知日増するが故に於
 て乎海外需要者は驚て日本製の良茶は其種の汚臭あり如
 此の時は飲用は供す能はずと能はずと再び本邦茶を求め
 るに至り我花庄は去て印度支那茶若しくは咖啡の需要者
 なるなきを保ち遂に寒心せざるを得んや而して其難如此
 信用を失ふときは再び之れを恢復せざるは實に容易の事
 ならず而例を察せば彼の下總茶は既述粗製を以て賣るる處
 を如く我國固有の良茶が少なからば然るに良茶と雖も其
 總の名稱は其信用せざるを以て其製は止る得ず其玉子の
 名を藉りて賣込るゝに反して玉子の粗製品は其總産な
 ると云はざるべし其製法を知るべし其製法は其製法

皆煙臭のものとなりしを果ては前述の如く海外需要者に接
 斥せられ販路を失ふの基となすにあらざるは誠の茶業の
 猶有序希望するは茶業組合に於て炭業組合は援助を與へ
 此相競て良炭を供給せしむる様獎勵せられたるは是れ勿
 論炭業組合に餘裕あれば可なりと雖も若し香煙を以て於
 ては自然取締が散漫に流れ折角の改良の半途にして行は
 ば遂るが如き事あらざれば是に憂ふべき次第なれば斯る場
 合には茶業組合より宜しく相協の補助費を與へられたる諸
 君其區々炭の改良行届かざるが爲め此貴重なる國家の經濟
 を助くる製茶に大害を醸すに於ては豈に遺憾の至りならず
 余は幾と製茶と炭の改善と相俟て然る後其功を奏す
 ものと信じて疑はざるなり

(二) 三番茶以下摘採

の有害なることは余が夙に唱導する處なれば之れを摘採
 する處の人は左程の害なきもの如し云ふのみならず發
 芽する限りは之を採る方個人の利益を謀るも又國家經濟
 より觀るも利ありて害あるを知らざれば之を更に忠告を耳にせ
 ざる向ありと聞く尤も生計上三番茶以後に至るも採らざ
 るを得ずと云はるに至りては寔に是非を論ず次第余は敢
 何を言はん然れども三番茶以降摘採は利益を比較す
 るに其利益と稱するものは區々目前の手間賃に過ぎざるに
 反して損害は斯業上全体に涉り悪弊の及ぶ處實に測る難から
 ざるものあるを見る試に其重要な點を擧げば三番茶以下の製
 茶は其本質を喪失したる發芽茶は脂氣を多く香味も亦
 劣等品に過ぎざるなり又三番茶以下を絶えず摘採
 するときは其害を翌年の新茶に及ぼし三番茶發芽の勢力を

衰へしむる爲新茶の價值茶まで至ると其三年の若く去
 後三番茶以下を摘採して賣り残りとなるに於て翌年の新
 茶は之を混交するの餘弊を免るること其三年の今此點に付
 如何に其弊害の至大なるかを詳述するに先づ三番茶以下の
 發芽を以て製造したる茶は元來其性分衰弱し其茶葉を以
 て假令其形狀極優美に出來得るとすも香味は極弱なり
 尚枯葉等し其味なる飲製茶等より更に價值あるを疑は
 ず而に此價值なき製茶を雖とも價の安き下等品として供給
 せらば需要せらるるもの多し其味は甚だしき害となり難く三
 番茶以下は概して其形狀の美なる細まり物なるが爲め上等
 の品として輸出せざるべし然らば茶葉に於ては海外需辦者
 は之類を飲用以て日本茶は上等品と雖も香味共に乏し
 し其價段に對する價值は尠く其弊は外見の美を補ふ

補着するが如き不信用なる日本茶より其香味は共に高き
 印度錫蘭茶を呑むの便れるに若くすと想ふに諸君は三番茶
 以下の製茶を結構なりとし自ら飲料とせし或は之れを客
 に供することなかるべし否恐らくは日本人の喫茶家にして
 三番茶を好むものは一人もなかるべし夫れ自國に於て喫用
 するを欲せざるか如き粗品を製産して海外の需要に供し而
 かも販路の擴張を遂げ得るものと爲す乎其難きこと猶木に
 縁りて魚を求むるの類にあらずして何ぞ況んや三番茶以後
 を摘採するの結果翌年一番茶の發芽を衰へしむる新茶は其の
 聲價を失墜せしむるに於て殆ど殊に恐るべきは三番茶後に
 至るも製産するが爲めに商況を不振ならしむるのみならず
 不振を招が故に之れを賣り残して翌年に到るや新茶の初期
 に方り混淆するものありと聞くに至りては余は實に如此事

を言ふに忍びざるなり夫れ新茶の初期は其年の標準にして其出来不出来の如何は是れ取りも直さず我製茶貿易の浮沈に關する大切なる時期にあらずや此時に方り故意に古茶而かも三番茶以後の粗劣品を投入して一時の小利を購着せんとするものあるに至りては痛嘆せざるを得ず欲すも能はざるなり諸君よ若し如此弊ありとせば諸君の任として其弊習を洗せられんことを切望す

又特に諸君に對し御注意を乞はざるべからざるは五番茶以下の製茶中往々青紫色を帯たる茶葉を見るに是れ是なり猶て此青き紫色の葉は一見偽葉の如くなるを以て米國に於ては彼の粗製茶標準に對し不合格品と視做さるゝの恐れあるものなり此は切り生へるか稱する芽なる由にて就中細よりの製茶に多き然如し故に斯る危険なる茶葉は摘採せしめざる

様一般營業家へ諸君より御注意あらんことを希望す

終に臨て尙一言を呈す御當郡は本縣に於ても首位を占むる産茶地方にして云はゞ全國第一の場所柄なり殊に從來改良に御熱心なる御當地のことなれば余か縷々婆心を呈する迄もなく斯業の進歩發達に意を用ゐらるべきは信して疑はざる處なりと雖ども願くは改良の上にも改良を加へ此國家多端の經濟に資益せられんには獨り諸君の名譽なるのみならず茶業者の面目なり諸君乞ふ自愛せられよ



左の筆記は四月十九日榛原郡川崎町開明座に於て演説せられたる處にして翌二十日は磐田郡見付町報徳社に二十

一日小笠郡土方村本勝寺に於て何れも講話せられたり而

して場所により幾分か特々注意を促されたる異同はあれ

ども其要旨の一貫して變るとなし依て他の筆記を省く看

者之れを諒せられよ

大谷嘉兵衛君講話筆記
四月十九日榛原郡川崎町に於て
和仁幸之進手記



大谷嘉兵衛君講話筆記

諸君、私は只今中村圓一郎君より御紹介に預りし大谷嘉兵衛君に御來會の諸君は多く始てお目に懸る方々なるやに見受くれども從來茶業上直接間接には定て御懇情を蒙れる處なるべきを以て將來は尙倍舊の御厚誼を忝ふせられんことを願ひ候。御座り候。諸君は先年來屢々御當縣へ來遊し聊か茶業其物に付き所々に於て卑見を呈せしか實は其度毎に御當所へも伺ひ親しく諸君の高説を叩き併て乍不肖お話を試んと希望したれども折悪しく其機會を得ざりしのみならず元來御當地は改良に御熱心なる場所柄故自然他の改良上急務を感じる地方を先にいたれば旁今日迄御無沙汰に打過きたる次第然るに今回は本郡長板垣君始め斯業

に有力なる諸君の御配慮に預り新茶前御多忙の時季にも拘らず斯る盛會に列して多數の諸君と相見ゆるを得たるは不肖の本分として尤も欣榮とする處然るに先刻來諸君より種々有益なるお話しあり旁私か述へんと欲する處或は重複の嫌なき能はずと雖ども乞ふ暫く諸君の清聽を汚さむ

今や國家經濟の大勢に鑑て熟ら前途の長計を慮るときは須く生産を勵まして貨殖の基礎を確立し國家の進運と相待て輸出貿易を旺盛ならしめざる可らず勿論從來と雖とも海外貿易を重んぜざるに非らず其發達を冀はざるはあらず然れども今日の如く急務中の急務として一日も其促進を緩ふすべからざるの秋はあらざるなり諸君試に見よ去る二十七八年戰役の結果は如何に國勢上の變遷を來たし又如何に國家經濟を膨脹せしめたるかを實に此兩至年間^{一九一七}に於ける政府及民間事業の暴進は驚くに堪へたる次

第一して或は軍備の擴張と云ひ或は鐵道の布設と云ひ其他あらゆる新事業は一時に勃興したるの結果經濟界の均衡を失じ物價の騰貴となり資金の必迫となり輸入超過の逆勢となり官民共に困難を感ずると切なりと雖ども既に計畫せられたる事業は半途にして之れを中止するに由なきを以て船舶器械類を始め其他固定資本となるべき約條品は續々海外より輸入せられたれども未だ之れを利用して生産力を増加するの連なき折柄不幸にして昨年内國の農作不結果なりし爲め本年より外國米の大需要を促し以て輸入超過の逆勢をして益激甚ならしめ今や國家經濟上頗る憂ふべき現象を呈するに至れり

勿論戰後殊に戰捷國に在では一時起業熱の旺盛を極め其反動として忽ち恐慌を惹起したるの例は各國の歴史に徴して明白なる事實なれば本邦に於ても其轍を踏まざる様收戰の當時政府及民

問の識者に於ても豫め警戒を加ふる處ありしが人心の昂る時は
 又如何と必ずしも知らざるものか知らず識らず實力不相當の事業
 を企て遂に今日の如き困難を見るに至りしは是非もなき次第に
 して畢竟官民共々勢に乗じたるものと云ふべし尤も余は斯る現
 況を見るに及んで或る論者の如く軍備の縮少を云々するものも
 あり又政府の財政策を非難するものも非ず要は其朝野需致も
 て今後の長計を講ずると同時に經濟界目下の不振を救済するに
 足るべき方針を執られたることを希し有り然るは乃ち其方針とは
 如何日他に良策あるをなし政府も人民も相戒る不生産的事業を
 避けて以て真正着實なる生産界に資金を注入して活動を與へ輸出
 貿易を助長せしむるに在りしと謂ふ所の所謂真正なる生産に勉めらるる
 諸君は余の所謂真正なる生産に勉めらるる諸君の如く而かも輸
 出重要品として最も責任の輕からざる茶業に従事せらるる方々

なり其地位を云ふは斯業上全國に冠たる静岡縣にして殊に本縣
 中におかれて産額の富饒を以て鳴る處の茶業家なり此故に諸君の
 一舉一動は獨り静岡縣茶業の盛衰に關するのみならず製茶貿易
 の消長に繫るや勿論なり諸君の任や夫れ此の如く重且大なり豈
 に國家の爲め利益を奮勵せざるべけんや我々茶業の全く市況に
 又諸君の知る如く彼の印度錫蘭茶業者は我製茶唯此の花玉國た
 る米國に侵入してより數十萬圓の資金を投じて存りに販路擴張
 の運動に着手するや其勢猛烈を極め我製茶の顧客を掠奪せんと
 するに至り而して如此盛に自國の製茶を賣弘めんとするの大
 運動を爲し得る所以の者は畢竟彼等が一致團結の精神に富んで永
 遠に共同の利益を進めんと欲する其外ならずして換言すれば國
 家的觀念に富めるの証據と云はざるべからず勿論彼等も多少政
 府の後援を受るには相違なきと雖も其計畫の大膽不敵なるには

驚かざるを得ず然らば乃ち之れに對する我茶業者の覺悟は如何
 漸く昨年政府の獎勵金七万圓を得て防禦的運動に着手せたるに
 過ぎずして未だ彼錫蘭と對等の勢力を張ると能はざるにあら
 ずや若し夫れ此時に當り之れを是れ顧みず粗製濫出自ら需要者
 の信用を失ふが如きことあらんには我は一敗地に塗れて止まら
 のみ將た憐の面目ありてか政府の獎勵に對へん般鑿遠からず支
 那茶の運命を見よ夫れ支那茶は既に英國を以て一大顧客となし
 欠けざる專賣の地位を占むる而かも一朝錫蘭茶の起りて英國市
 場は仄るや巧に其販路を伸張して今や支那茶は全く市場外に驅
 逐せられたるにあらざるや而して如此支那茶の非運を招きたる原
 因を探るときは要するは粗製濫造只眼前の小利に拘泥して國家
 觀念の何物たるを知らざりし結果に外なきもの、如し思て爰に
 至れば本邦茶業者たるもの豈に寒心せざる可けんや

然れども我茶業者は幸か哀くより組合を組織し内に在ては粗製
 濫造の弊害を取締り外に對しては需要者の嗜好を探りて販路開
 發の方法を講ずるのみならず全國營業者一致の精神は政府の容
 るる慮となりて獎勵金の下附をよへ受くるに至り殊に米國は日
 本の文明を啓誘したる先導國なれば今日に至るも猶日本を愛
 顧の念ありて新聞を始め需要者中我に同情を表するものも少な
 からず亦以て支那茶の英國に輸はるが難き不幸に陥るなきは不
 肖の僥倖にて疑はざる處否余は云ふ迄もなく諸君は製品を正ふに
 信用を重んじ以て日本茶の聲價を益海外に發揚せらるべきを信
 せんと欲す
 却說昨年は米國に於て製茶の苛重の關稅を賦課せられんとす
 る一方我茶業者運動の結果幸し無稅となるを得たる次第は先刻
 吉永氏も述べられたる處なれば余が茲に多言を要せずと雖ども

當時我當業者が紐育支部に於て之れに對する運動に從事せしめ
或は中央會議所は政府に建議する處あり又余は不肖作、以時機の
切迫するを見るや議長の名義を以て全國茶業者百廿五萬人を代
表して大統領閣下より反省を希望するの急電を呈したる等内外氣
脈相通して敏活の運動をなし得たる所以のものには必竟組合の組
織完全にして機關の設備を利用したるものと云はざるべからず
又諸君御承知交通の昨年は米國に於て粗製茶輸入禁止條例を改
正實施せられたる件に付ては特御注意を乞はざるべからざる
ことあり何れも他なし該條例施行の結果本邦茶に在ては彼の標
準見本を照し不合格品として其輸入を拒絶せられたるもの實は
千九百七十五個に達したることは是なり而して此等の製茶は横濱
及神戸に積戻されたるものあれば其多くは轉じて加那太に輸入
せられたるもの多からず劣等品は續々加那太に廻りたるもの多し

し茲に於て乎加那太に於ても最早其弊は堪へざりて米國同様粗
製茶に對する取締り法を設くるの議あるに至れり諸君其斯の如
く粗製茶排斥の報米國及加那太の需用者は傳りたるは彼等
は果して如何の感を惹起するものとなすか想ふは從來は信用を措
き安心して飲用したる者と雖ども右の如き報を聞くと忽ち疑念
を抱き自家の使用茶は不正粗悪品にはあらざるなきかはた平素
此等の點に介意なき者迄も俄かに貯蔵の製茶を取出して其品
質を吟味するに至るは人情の然らしむる處若し夫れ此場合に方
り品質不良なる製茶が彼等の手に渡りたらんは將來は本邦茶
の飲用を廢して印度錫蘭茶若しくはコヒー杯を求むに至るや必
然の結果なるのみ是れ諸君と共に相戒て粗製茶の濫造を防ぎ併
て我輸出港よりは再び前述の如き劣等品を海外に送るが如き失
態をかりせむことを期せんことを欲する所以なり余は此精神を以て

是より新茶に對する希望の要點を陳述せられたは語勢或は失敬に涉るべきなきを知らずと雖も不肖ながら國家を念ふの熱情は外なきを以て豫め諸君の諒察を希はずんばあはげ茶の製造を期すの期用を望むるに由りては、
 新茶に對する希望 新茶の品質を改良せしむるに當りては、
 實に和乾燥を充分ならしむるものとす。蓋し夫れ此種合製茶等此種に就ては先刻も國氏様のお話あり遊るが實は干燥其製茶は取りて最も大切なる要點なり諸君の知あるが如く干燥の悪い茶は其本質を失ふものなるが故に折角汗を流して巧に揉み込まれるものと雖も時日を経るに従て香氣も味も粗製品に變化するのみならず甚だきは空りては腐敗するものなきはあらず去れば干燥の不完全なる製茶は結局粗製品として米國需要者より排斥を受くるものを知らるるが如し

す然るも人或は云はん干燥を充分とするを固より結構のとなる事は相違なきと雖も之れを完全にするに當りては製茶の量目を減少するのみならず勢力騰貴の今日多量を製造せしむるに能はざるを奈何せん殊に製産家は其日々擡げ上げたるものを買目他より賣渡すものなれば其賣は買手より在りて生産者の知る處にあらずと何ぞ思はざるの甚だきや諸君余は如此其買限りの者を以て此貴重なる製茶の乾燥に注意せざる輩あるを悲む何となれば其結果は巡り巡りて生産者より自身の不利不幸に歸するものなればなり
 試みて干燥の悪い製茶を横濱に輸送したりとせんは賣込商は其荷物の貯藏に堪へざるを見るや急遽之れを外商に賣込たりとせよ然るも新茶多忙の際には又之れを買入れたる外商もあり得るも直に再製を加ふるに能はざるが常として五日

乃至十日間も其荷物を倉庫に積置たりとせし茲に至りて
 此于燥の悪き茶は忽ち其品質を墜じ之れを買入れたる當時
 此茶は五六圓歩の價値を失ふものなり而して如此其且
 品質に變化を生じたる茶は假令此茶を再製するも以前の如
 き茶質を回復し得ざるのみか其結果甚不良なるとはなり然
 れども外商も之れは如何ともす果が致さる次第は極正を
 得ず其儘海外の注文先へ輸出したりは甚るる海外の輸入商
 其品質の不良なるを見ても大に驚き其手摺を注文したる
 處を五百圓は減少するが若くは跡荷の積込差止め來る杯
 の例は往々見聞する處なり而かも其代りては他の日本茶
 を注文し來れば猶可なりと雖も其花虫は去る印度其錫蘭
 茶を求むる事あらずや果して然らば干燥の惡き製茶採取
 の者直さず販路を縮小す事の甚と云はるべからず殊に新茶の

初期地方の叙述の如き製茶を輸出せしむる場合も其等全年
 の商況を不振に陥候に或相場を低落せしめ結局製造家の損
 害を免れざるは亦多し是は所謂干支を吝で百を失ふの類
 にもあらず却て何ぞ豈の恐れ懼れざるを以て勿論諸君此斯
 業に御熱心の方を以ては此は着の如く眼前の水利を懸念後目の
 大不幸を招くが如き事には斷じて無之を以て懸念を併し
 され獨り慎心の為に於て他は假令粗製濫造を行はれ其れを
 注意せざるが如きに至りては矢張り國家的觀念は乏しきも
 のに去はせる事からず何ぞは静岡縣に於て是人の罪人
 を出し他縣人は迷惑を懸念せしむる静岡縣人は其れを惡いこと云
 はる事もあるが其れも其の惡は全体の汚名となるが如く一人
 不都合の粗製を出すものあれば日本茶全体の不評判となり
 果ては其製家も其害亡虞せられざるを得ず説で茲に至れば飽

造其吟味を行て乾燥を充分にせらば心を望まざればあ
 りて適合の味も出せぬ。此等日本茶全体の不振時を
 二評 煙臭茶の太害に就ては、恐るべき弊害甚しき
 製茶に煙の臭氣あるは最も厭ふべき恐るべき弊害甚しき
 且煙の害を受けたる製茶は假令他日欠點なき品と雖も
 茶として毫も價值なきものと云はざるべし。何れは
 煙臭は製茶の香氣を全く奪ひぬるは、此種茶は
 煙臭は製茶の香氣を全く奪ひぬるは、此種茶は
 水煙を水煙を混合したるものを呑むが如き感覺を起す
 兼ねれば、去れば如此製茶を飲用せらるる海外需
 日本茶を購買せざるのみか他人に向ても之は茶味
 相傳へ遂には本邦茶の販路を減退するに至らば、
 戻り煙臭も亦乾燥が完全なる製茶なり。此種香氣
 回ひ喫する者、又慮れ難き味を覺へ他人を誹謗して

日本茶を使用せざるに至る。此種茶を製茶の
 諸君本邦は赤來茶の産地なれども、最近此種茶の煙臭の
 弊ある製茶の増加したる傾向を見る。及んで余は甚遺憾
 堪ざるなり。殊に當川崎地方に於て最も其然るを見る諸君
 此往時は川崎の茶と云へば本縣中現在でも他は比類な
 金の良品にして、以て聲價を博したるものなるを、
 然るに今日の川崎茶は如何煙臭を以て市場は有名なる
 の川崎茶と云へば悉く煙臭茶の如く見做され果ては當地方
 の製茶にあらざるもの迄も煙の茶は川崎邊の産出にあ
 ずやと云はる。に至れり豈に遺憾千萬の次第な如きを勿論
 諸君は煙の太害を知らる。方々なる茶は諸君の製
 には右の如きものなるべし。然るに其良茶と雖ども矢張一
 概に川崎茶と稱せられ其は汚名を被りつゝあるはあらざる

君の經驗を積むる處に於て雖も彼の築造立ての焙爐を其儘使用するは自然其製茶に土氣臭く多し懸念を蒙るは他府成數日前焙爐を掃蕩置てお餅を味る様勿論新茶製造に先て菓を爐中へ焚き込て充分乾かして然る後使用此類を可也又助炭を精製し腐敗したる糊塗用ひ新造の紙を貼附し是は是葉茶の一種の臭氣を與るもの故に此等の焙爐は張蓋を注意せしめざるべし殊に最悪なる葉茶は朝の焙爐に着手する時方面炭の燃へ盡すを恐るべし因るは若くは根の葉を稱す粗炭を交るは是は自然烟肉並に毒ものにして其煙は焙爐の縁を傳へ爐蓋内へ舞逸をこそ是等の尤動此場合は煙を吹き乍ら操む人におぼろが油煙を其煙は果ては他葉飛散するものも非んば是れ不潔不識煙を茶樹標込に至るは此葉倍葉此製茶を他府混製するは是れ其罪

全員の製造品を撃て烟臭の物となりしものも又高付如此製茶が相集て混淆せられたる結果此前述の如く海外需用者の擴充を蒙り遂には由々敷木不幸を斯業全般に及ぼすものと知らざるべからず余は諸君か此事を輕々視せらるゝ勿らんとせざるを信ずると同時に未だ烟臭の害の未だ爾所以告知する人等が對しては特は諸君より御註告ありんばを希はばははあらず諸君は當地方の先輩とて多數の營業家を指導せらるべき責任を有せらるゝものには信じて疑はざるなり

(三) 三番茶以下摘採の有害なるを余は余か兼て主張する處なればも或る人は之れを輕に歸付して其摘採を制止せざるのみか却て利益あるが如き思ふは未なる謬見なり其説は田三番茶以下は農業の餘暇を以て摘採製造せらるものなれば

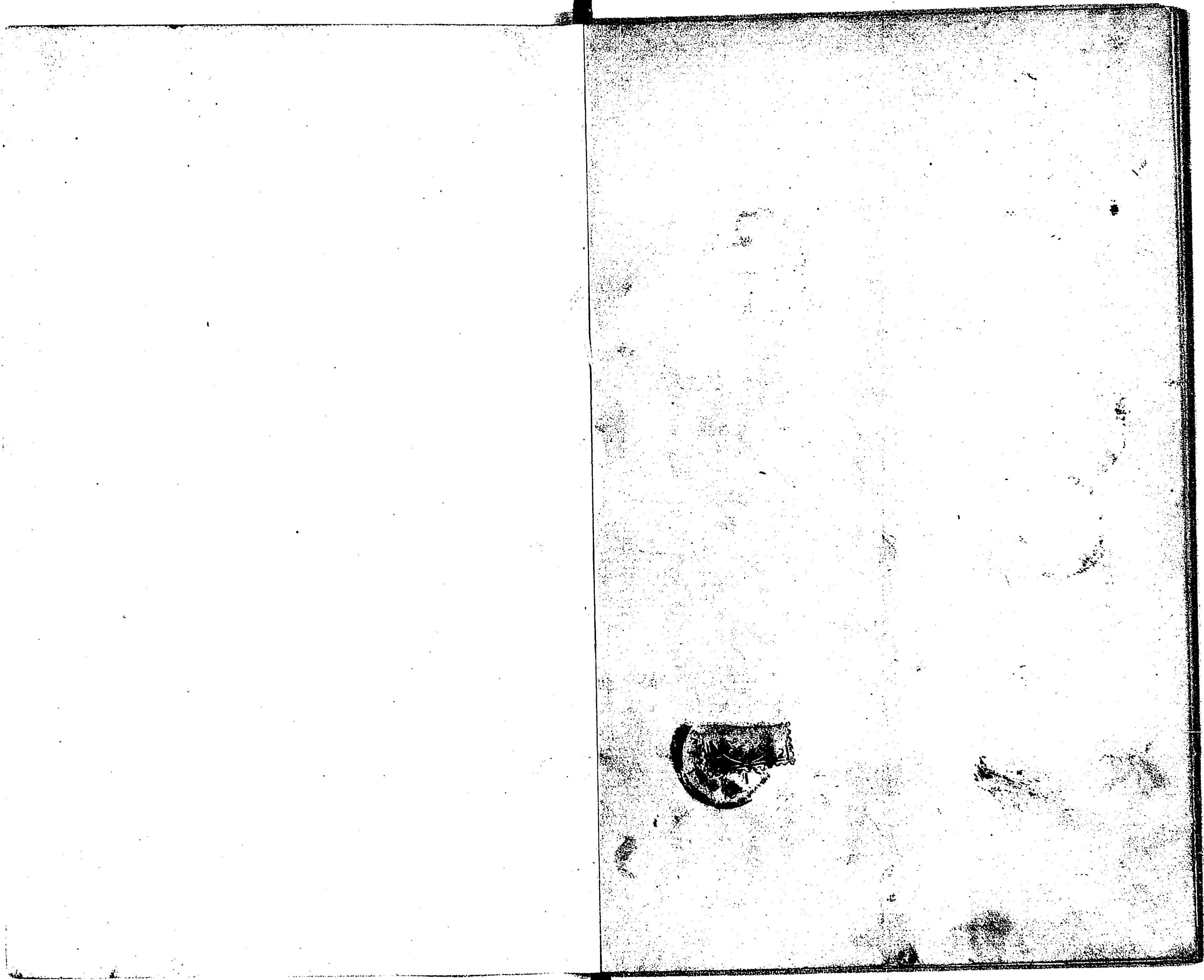
生計の補ともなり又發芽する以上は之れを採取する方産額を増して國家經濟上は利益ありと去ふはあるが如し是れ其一を知て未だ他を知らざるの偏見と謂はざる可らず何となれば三番茶以後の製茶は其本質を失へるものなれば獨り香味は缺くる處あるのみならず脂氣もなく葉肉も薄き粗劣品たるを免れざればなり而して三番茶以下を摘採するときは自然茶樹を害ふ故に翌年は於ける新茶の價值を墜すに至るは當然の結果なり若し夫れ三番茶以降を製造して之れを其年は賣り盡し得ざるときは翌年の新茶を待て混交するの弊となるにあらざるや諸君試に思ふ前述の如き價值なき三番茶を雖も下等品として供給せらるるものならんは猶前略の如き雖も三番茶以後の製茶は形狀の美麗なるを以て上等品として海外に輸

出せらるるにあらざるや爰に至りて海外需要者は其外見に欺かれて一回之れを飲用したりとせば然るに元來脂肪質なき香味もなきものなれば大に驚て曰日本の上等茶は形葉こそ優美なれ茶の價值は更にあるとなし如此ものを求めんよりは香氣も高く味ひも濃厚なる印度錫蘭茶を需むるの優れるに若かずとて我花主は去て外國競争茶は就かんのみ願ふに諸君を雖も三番茶以下の製茶を愛用し之れを來客杯に呈するとはなかるべし何れ自ら飲用を欲せざるが如きものを製出して海外に供給し以て販路の擴張を成功せしめ得ると爲すか思はざるも本甚しと云ふへし況んや此三番以下の發芽を採るが爲めは茶樹の勢力を衰へしめ翌年は於ける新茶の聲價を失墜せしむるは於ておや實は新茶の初期は其年の標準として頗る大切なるものなるは拘らず晚芽摘採の爲

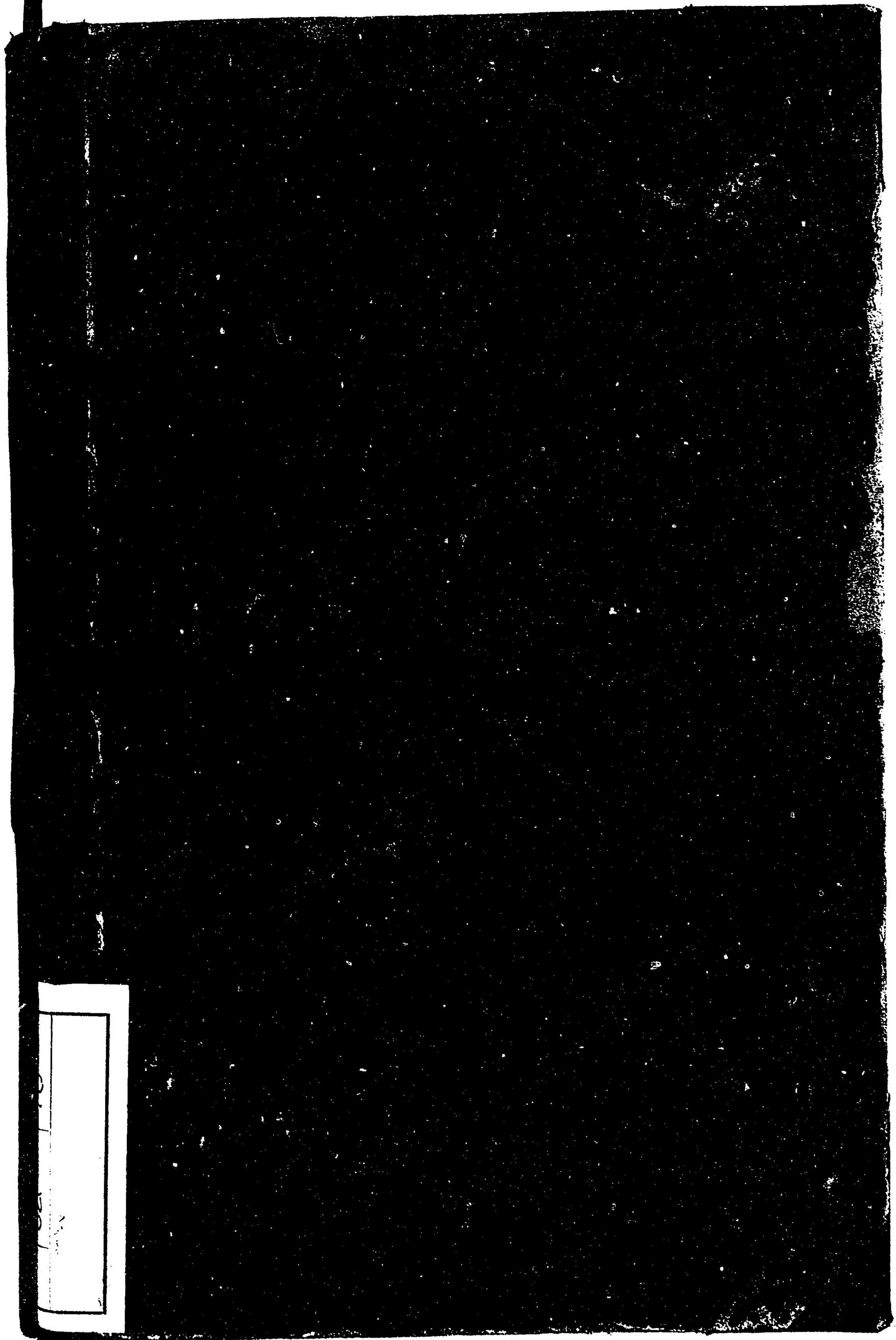
め新茶は傷害を與ふるに於ては愈々以て餘弊の甚くは
 知るに足るべし然るに人或は云はん三番茶以後を摘採する
 ときは其勢力を衰へむむるを蓋し貴説の如くは併
 半も我等は之れに相當するの肥料を施肥す故に敢て害あり
 とは認めず云はん諸君余は如此説あり故に猶一言せしむる
 を得ず譬へば爰に人あり晝夜間斷なく過多の勞役を服せし
 め我は餘暇に飲食を給與する然故に害あるを見ず是を以て
 か唯其妄を嗤はざるものあらんや余は植物學に通せば
 雖も道理は二つなきを信ずるものなり或人の如く肥料を餘
 分給するときは其際限なく發芽する毎に摘採するは亦も弊害
 を與ふ云はんが如きは畢竟栽培の何物なるを解せざるもの
 云はざるべからず茶樹として芽を吹出せば毎に摘採せられた
 らんには堪へ難きとなりんと思ふ去り乍ら生計上三番茶は

下に至る迄も採らざるを得ずと云はるゝに於ては誠には非
 なき次第なればせめて蒸しにても充分にし海外に悪評を流
 さざる様注意せられたし又三番芽の製茶には往々青紫色を
 帶たる葉あるを見る此は水を入れるときは明に現るゝもの
 にして切り生とか稱する發芽の交るものなる由承りしが是
 れ甚忌むべきものなり其故如何と云ふに此青紫色の葉は海
 外に在ては偽葉と見誤られ彼の粗製茶標準見本に照し不合
 格と見做さるゝ恐あればなり依て此事は特に諸君の御注意
 を煩はさざるを得ず

終に臨て猶一言を呈す當川崎附近は元來良茶の産地にして明治
 初年の頃には静岡縣中無比の名聲を博したる場所なり殊に
 産額の豊富なるに至りては推して全國第一と稱せらる然らば乃
 以諸君の責任を盡し至大なりと云ふべし冀くは國家の爲め此地



81
73



Small white label with faint, illegible markings.



041690-000-9

81-73

大谷嘉兵衛君講話筆記

和仁 幸之進/記

M31

BDI-0183 -



